



問 災害多発時代の防災・減災対策等について

答 行政中心の対策だけでなく、地域住民と役割分担を共有していくことが重要（町長）

問

線状降水帯の多発やゲリラ豪雨等被害が甚大です。災害はどこでも発生する可能性があること認識しています。これからの防災対策は、実施訓練や地域住民とのさらなる連携強化等が必要と考えますが答弁を求めます。

町長

令和元年10月の東日本台風では、大雨特別警報が発令され、244の方が避難されるなど、河川護岸の一部崩落や土砂災害など、多数の被害に見舞われました。また、1時間で100ミリの記録的大雨に見舞われ、町内河川でも一部越水を記録しました。また、東日本大震災や茨城県南部地震では、多くの家屋の

損傷等も発生しております。

これからの防災対策については、行政中心の対策では、十分と考えております。地域住民や自主防災組織に対し、防災意識を高めていただき、知識や役割分担を共有していくことが重要です。

問

小中学校の防災教育について答弁を求めます。

教育長

小中学校では、防災計画にのっとり、学期に1度の避難訓練を実施しております。年に1度保護者協力の下、引き渡し訓練の実施、社会科においては、消防署や消防施設の在り方、理科では、自然災害のメカニズムを学習

し、安全な行動の必要性を身に着けることを勉強して

ます。また町の非常用備蓄品を生徒に配布することで、防災や減災について指導する良い機会ととらえております。また、緊急地震速報やハザードマップなどを調べて、自分たちで考え、今後どうしたらよいか具体的に学ぶという学習をしております。

問

ゲリラ豪雨や大雨等に対応した河川改修と河川管理に浚渫（しゅんせつ）や樹木の伐採、及び集落内道路改良や側溝整備等について答弁を求めます。

建設課長 県管理の1級河川の志戸川と天神川の未改修

区間と河川の氾濫等の予測など必要な水位計の設置を要望して

きました。両河川で、水位計4か所、水位監視カメラは、2か所設置しております。町管理の河川では、浚渫や樹木伐採をしており、令和6年度では、県管理河川1か所、町管理河川5か所、池1か所予定しています。道路の改良については、拡幅を伴う道路整備と簡易舗装の2つの方法で進めてきました。簡易舗装については、道路舗装工事だけでなく側溝整備の要望も増加しており、現在優先順位等つけるための基準を作成しています。

●その他の質問

美里消防団（第2分団及び第4分団）の車庫・詰所の新規移転等について



地震や台風などの自然災害は、その被害の恐ろしさを忘れたとき、再び起こるものだという戒めがあります。「天災は忘れた頃にやってくる」です。実動訓練が重要と思います。





問 「お悔やみ申し上げます」欄の復活を望みます

答 現時点では考えていない（町長）

広報みさとについて

問

新型コロナウイルス感染症拡大からはや4年がたち、令和5年5月から5類感染症に位置づけられましたが、いまだに収束には至っておりません。我が美里町でも、人々の働き方、ライフスタイルは大きく変わってきております。ここ数年、コロナ禍の中で、友人、知人、隣人とのコミュニケーションが取れず、情報不足となっているのは美里町だけではないと思います。以前にあった広報みさとに「お誕生日おめでとう」と「お悔やみ申し上げます」欄の復活を望む町民の声が多

く聞かれますが、町長の見解をお伺いいたします。

町長

近年、掲載を希望されない方が増えてきたこと、また個人情報保護の観点や近隣自治体の状況も踏まえて検討した結果、終了することいたしました。掲載再開については、現時点では考えておりませんので、ご理解のほどよろしくお願いたします。

問

入札は資金が町民の生活に役立つ事業に使われるよう、業務を発注する事業者を選出する仕組みです。最近の入札結果は、工事名と契約金額と落札者が載っているだけですが、以前のように何社によって入札が行われたの

か詳細な載せ方ができないかお伺いいたします。

町長

議員の皆様方からも疑問を抱かれないように、載せ方としては少し字が小さくなるかもしれませんが、分かりやすく載せていくようにしていきたいと思っております。

甘粕産業団地・松久駅北口計画・商業施設の進捗状況について

問

甘粕産業団地・松久駅北口計画・商業施設の進捗状況及び今後の商工会や観光協会との関わり方についてお伺いいたします。

町長

松久駅北口については、産業団地をはじめ

とする計画が進むと必ず必要となると考え、実現可能かどうかを模索している状況です。

現状ではJR東日本高崎支社への説明、商業施設事業者との意見交換や協議等を進めているところです。商業施設については、現時点で正式に出店を表明した企業はありませんが、複数社が関心を示しており、引き続き協議等を進めているところです。商業施設の誘致を具体化させるためには、町が先行して道路整備などを実施するといった取組が必要と考えています。また、商工会や観光協会との今後の関わり方については、協議してまいります。



役場庁舎から松久駅を望む

「入札」とは、国・地方公共団体・官営企業・半官半民企業などが発注を行う際に、受注希望者に受注金額を提示させた上で、最も良い条件を提示した者を受注者に選ぶ方式です。





問 大人の発達障がい当事者会結成について

答

大人の発達障がいの方々が生きづらさを解消し、就労や自立した生活が送れるよう支援していきたい（町長）

問

美里町の大人の発達障がい者に対する現状の支援策について具体的な取組や課題を伺います。

福祉課長 精神障害者保健福祉手帳の取得により、障害者雇用枠での就労、公共料金の割引、税金の控除などを受けることができます。また、自宅訪問、入所するサービス、就労支援、自立支援医療制度（自己負担1割）など受けることができます。課題については、いわゆるグレーゾーンの方（医師の診断基準を満たさず、発達障がいとして診断が下りない）は手帳が取得できず、公的な支援に限られてしまったため、それが課題であると考えております。

問

私は、昨年の夏から毎月、ボランティアとして高崎市の当事者会に参加しています。大人の発達障がいのある当事者会が地域社会と協働し、支援・啓発活動を行う場合に、町はどのような形で支援を行うのか伺います。

福祉課長 当事者会の活動の取組について、広報等で広く情報発信し、発達障がいへの正しい理解に繋がるよう啓発をしたいと考えています。当事者会に職員を派遣し、サービスや制度の説明や困り事などを伺い、発達障がいの方が地域で自分らしく暮らせるよう支援してまいります。

問

大人の発達障がい者が生活を送る上で求められる環境整備や社会保障など、町としての施策を伺います。

福祉課長 児玉郡市障害者就労支援センターや、障害者就業生活支援センターこだまなど、関係機関との連携強化をして、当事者会のニーズや課題を把握し、支援を柔軟に検討したいと考えています。

問

フリースクールの設立について、不登校は児童生徒個人やその家族にとって深刻な問題です。学びを続け社会と繋がる機会を得るため、町の積極的な支援と協力が不可欠です。小中一貫校の

教育

早稲田大学本庄キャンパス内に、不登校などの児童生徒がカウンセリングなどの心理的支援と学習支援を受けられる、ふれあい教室を設立しています。町ではフリースクールの設立は考えておりませんが、スクールカウンセラー、ソーシャルワーカー、公認心理士、さわやか相談室など、教育環境の充実に取り組んでまいります。





問 ナイトコンタクトレンズ療法を

答

可能なのかどうかをまず検討をさせてみたい

(町長)

大切な子どもたちの視力について

問 町内小中学校の児童生徒の視力について、現在の状況を伺います。

教育長 美里町の児童生徒の視力は悪化の傾向にあると言えます。

問 一人の小学生の一例として、小学1年生から5年生までの記録を紹介します。

小学1年生裸眼左右A(1.0以上)。2年生裸眼左右D(0.3未満)。3年生矯正左右A。4年生裸眼左C(0.6)右A。5年生裸眼左右A。2年生頃より自宅にて、携帯

電話、タブレット類によるゲームが増えたことにより、一気に視力が落ちました。しかし、視力の悪化後、ナイトコンタクトレンズ療法により就寝中に角膜を矯正し、日中は裸眼で過ごす治療法を受けています。この治療法は、保険適用にならない治療法ですが、治らないのではなく治る可能性はある。美里町で何らかの形で、参考にしていただけるか伺います。

町長 保険外の施術とお聞きかをまず検討をさせてみたいと思います。例えば不妊治療なども保険外ですので、少し

検討したい。



美里町立小学校の統合について

問 3つの小学校がなくなり、子どもたちの声が消えた地域は、閑散とした空間になってしまつと聞いています。

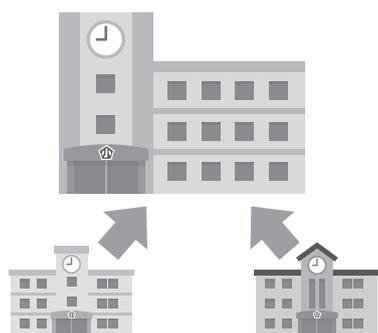
町長選挙と並行して、小学校統合の賛否について住民投票

ができないか伺います。

教育長 小学校適正規模等アンケート調査を実施し、中学生までの保護者のうち、80%を超える方々に回答をいただきました。また、町内3会場におきまして、小学校適正規模適正配置に関する説明会を開催し、町民の方々には、小学校統合の方向性につきまして、おおむね理解をいただいていると考えており、改めて小学校統合の賛否について住民投票を行うという考えはございません。

問 3つの小学校合併の場合と、統合しない場合との、国からの補助金を教えてください。

町長 統合の場合は2分の1です。1、通常改修ですと3分の1です。建設費を比較すると安いという部分もありますが、やはり教育力、これからの子どもたちが社会に出て困らないような教育を我々ができ得るものをするということが大切なかなと思っています。



ナイトコンタクトレンズとは、就寝時に特殊なハードコンタクトレンズを装着することによって角膜の形状を平坦化させ、近視を矯正させる治療法です。起床後はレンズを外し、日中は裸眼で過ごすことができます。

